第２回定例会まとめ

ご参加いただいたみなさま、誠にありがとうございました。大変活発に意見を出していただき嬉しい限りでございました。引き続き、みなさまのご意見を集約しながら、部会活動をつくっていければと思います。よろしくお願い申し上げます。

1. 自立支援協議会の機能についての説明

■地域のニーズを洗い出し、解決に向かって動いていく。

■６つの機能

１情報機能２調整機能３開発機能４教育機能５権利擁護機能６評価機能

　　部会活動はこれらの６つの機能に基づいて行動することで迷いにくい。

２．■みなさまに配布した資料等をダウンロードできるファイル置き場を設置。配布した

　　いものがあればデータを甲斐までお届けください。

1. 部会としての総意確認

　決定した内容

■お仕事応援マップについては、更新を目標とする（お仕事応援マップに大きな変化はかけない）。車いすでの送迎が可能かどうか・移乗が可能なのかを追加情報とする。収集についてはグーグルフォームを利用したアンケート形式。情報はそれで集約し、部会内で編集をしてくださる方へ依頼。

■サビ管専門コース別研修に係る情報の収集と整理については、部会内でのプロジェクトとし、エンラボの西田様をプロジェクトリーダーとして配置致します。

　今後、情報の収集や、障がい者の就労に関する課題の整理等に関しましては西田様へのご協力をお願い申し上げます。良い研修になるようにしていきましょう。

　■部会員増に関して、声かけを行う範囲を確認。自立支援協議会の規程上、特に制限がない事を障がい福祉課に確認。ひきこもりの家族会、企業なども障がい者の雇用等に関心が高い場合は部会への参加は可能である旨、確認。テーマに応じスポット的にゲストにしても入りやすい。繋ぎ方は、部会長甲斐（０９８５－６５－８８２０）に連絡し、その後、部会参加のfaxを宮崎市へ送信してもらう。部会参加用紙は宮崎市のサイトからダウンロード可能。

　■「サビ会」については、サビ管に限定した集まりとはせず、名称を変更して、業務後の時間帯に開催していく。この集会は定例会の時間帯に参加しにくい事業所も参加しやすく、部会参加への良い架け橋となる可能性を秘めている。「サビ会」で行っていたことは事例検討や情報交換・書類の出し方など。開催場所は夕方、夜に提供いただける事業所。目標が決定したらリタリコ高千穂通三浦さんを中心に取り組む。

　■就労を考える３ヶ月間については、まず、部会外で同じような取り組みが無いか確認をする。他団体のイベント等で任せられる部分があれば、そちらを紹介する形をとる。今回の定例会で注力するポイントを確認。児童や、引きこもり等で情報が入っていない人たちに対して「当事者向け就労相談会」に最も力を入れる形で開催。当事者向けの際には特別支援学校をまきこむ方がいい。放課後等デイサービスと、就労系事業所を繋ぐ事も意識出来ると良い。また、「合同企業説明会」についても実施したい意向はあるが、これらの開催時期に関しては、就労移行支援事業所の方等のアドバイスを受け決定する予定。企業が障がい特性を知ることにより当事者が適切な企業選びができる。これについては、アンケート等を利用して、実際にイベントとして取り組む範囲を決定。会場等の決定なども鑑みると、次回の定例会６月８日がリミットと言える。スケジュール的にタイトになってしまうが、次回定例会までに今後の動きを決定したい。

今後の流れ

・お仕事応援マップの情報収集開始

・「サビ会」を夜の勉強会・研修会化させる。名称募集を行う。

・部会内プロジェクト「サビ管専門コース研修洗練化委員会（仮）」をエンラボ西田さん中心に取り組む。

・「当事者向け就労相談会」「合同企業説明会」の日程についてアドバイスを受け決定。

・「当事者向け就労相談会」で執り行う内容について決定していく。

・部会外部で行われる障がい者就労に関するイベント等の調査。

第２回定例会については以上となります。みなさま活発にご意見いただき、誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。話し足りない方はまたアンケートやメールでお知らせくださいませ。

次回もよろしくお願い致します。

補足

今回、みなさまの席が物理的に遠いと感じ、円卓から椅子のみ配置に変更してみました。活発な意見は出ましたが、メモが取りにくいなどのご報告もございました。次回はまた円卓に戻して実施しようと思います。いろいろ実験的に行いますが、より良い定例会とするためでございます。ご理解とご協力、よろしくお願い致します。

B型事業所　アクセプト　甲斐　大地